

福井県後期高齢者医療広域連合告示第15号

地方自治法（昭和22年法律第67号）第292条において準用する同法第243条の3第1項及び福井県後期高齢者医療広域連合の財政状況の作成及び公表に関する条例（平成19年条例第19号）第3条第2項の規定に基づき、令和3年4月1日から令和3年9月30日までの財政状況及び令和2年度の決算の概況を、次のとおり公表する。

令和3年12月16日

福井県後期高齢者医療広域連合長 東村 新一

1 歳入歳出予算の執行の概況

(1) 令和3年度一般会計（令和3年9月30日現在）

【歳入】 (単位：円、%)

歳入区分（款）	予算現額 A	収入済額 B	収入率 B/A
1 分担金及び負担金	469,399,000	234,716,000	50.0
2 国庫支出金	409,000	0	0
4 繰越金	1,000	33,739,830	3,373,983
5 諸収入	85,000	0	0
合計	469,894,000	268,455,830	57.1

【歳出】 (単位：円、%)

歳出区分（款）	予算現額 A	支出済額 B	執行率 B/A
1 議会費	1,474,000	42,248	2.9
2 総務費	155,609,000	73,107,221	47.0
3 民生費	310,810,000	0	0
4 諸支出金	1,000	0	0
5 予備費	2,000,000	0	0
合計	469,894,000	73,149,469	15.6

(2) 令和3年度後期高齢者医療特別会計（令和3年9月30日現在）

【歳入】

(単位：円、%)

歳入区分 (款)	予算現額 A	収入済額 B	収入率 B/A
1 市町支出金	18,771,067,000	7,412,530,722	39.5
2 国庫支出金	34,817,646,000	20,596,513,000	59.2
3 県支出金	8,937,686,000	5,333,334,000	59.7
4 支払基金交付金	42,492,938,000	18,017,238,000	42.4
5 特別高額医療費共同事業交付金	33,591,000	0	0
6 財産収入	50,000	0	0
8 繰入金	421,275,000	0	0
9 繰越金	1,000	4,732,418,015	473,241,801.5
10 県財政安定化基金借入	1,000	0	0
11 諸収入	1,303,000	38,481,880	2,953.3
合計	105,475,558,000	56,130,515,617	53.2

【歳出】

(単位：円、%)

歳出区分 (款)	予算現額 A	支出済額 B	執行率 B/A
1 総務費	353,032,000	140,111,352	39.7
2 保険給付費	104,740,307,000	42,980,169,003	41.0
4 特別高額医療費共同事業拠出金	48,780,000	0	0
5 保健事業費	293,237,000	315,439	0.1
6 基金積立金	50,000	0	0
7 公債費	1,000	0	0
8 諸支出金	20,151,000	18,398,702	91.3
9 予備費	20,000,000	0	0
合計	105,475,558,000	43,138,994,496	40.9

2 財産、地方債及び一時借入金の概況

(1) 財産

- ①公有財産 令和3年9月30日現在所有なし
- ②基金 令和3年9月30日現在高
療養給付費等準備基金 650,436,152円

(2) 地方債 令和3年9月30日現在借入なし

(3) 一時借入金 令和3年9月30日現在借入なし

3 令和2年度の決算の概況

(1) 一般会計決算の概要

①決算規模及び収支の状況

(第1表の1) 前年度決算額との比較

(単位：円、%)

区 分	決算額 A	前年度 決算額 B	対前年度比	
			増減額 C (A-B)	増減率 C/B
歳入	496,528,652	528,647,478	△32,118,826	△6.1
歳出	462,788,822	506,717,918	△43,929,096	△8.7
差引	33,739,830	21,929,560	11,810,270	53.9

(第1表の2) 予算現額との比較

(単位：円、%)

区 分	予算現額 A	決算額 B	執行率 B/A
歳入	496,407,000	496,528,652	100.0
歳出	496,407,000	462,788,822	93.2

令和2年度の決算額は、歳入4億9,652万8,652円、歳出4億6,278万8,822円で、歳入歳出差引額は3,373万9,830円となった。この差引額は、剰余金として令和3年度に繰り越す。

また、歳入決算額と歳出決算額の予算現額に対する執行率は、それぞれ、100.0%と93.2%となった。

②歳入の状況

(第2表の1) 前年度決算額との比較

(単位：円、%)

歳入区分 (款)	決算額 A	決算額 構成比	前年度 決算額 B	対前年度比	
				増減額 C (A-B)	増減率 C/B
1 分担金及び負担金	474,273,196	95.5	470,004,102	4,269,094	0.9
2 国庫支出金	244,000	0.1	345,000	△101,000	△29.3
4 繰越金	21,929,560	4.4	58,237,367	△36,307,807	△62.3
5 諸収入	81,896	0.0	61,009	20,887	34.2
合計	496,528,652	100.0	528,647,478	△32,118,826	△6.1

※ 決算額構成比は四捨五入のため、各行の和と合計行が一致しないことがある。

(第2表の2) 予算現額との比較

(単位：円)

歳入区分 (款)	予算現額 A	調定額 B	決算額 C	収入 未済額 B-C	予算現額と 決算額との比 較C-A
1 分担金及び負担金	474,272,000	474,273,196	474,273,196	0	1,196
2 国庫支出金	139,000	244,000	244,000	0	105,000
4 繰越金	21,930,000	21,929,560	21,929,560	0	△440
5 諸収入	66,000	81,896	81,896	0	15,896
合計	496,407,000	496,528,652	496,528,652	0	121,652

令和2年度の歳入決算額は、4億9,652万8,652円で、前年度決算額と比較して3,211万8,826円、率にして6.1%の減となった。

歳入決算額の主な内訳をみると、分担金及び負担金が4億7,427万3,196円、繰越金が2,192万9,560円となっている。

前年度決算額と比較して減となった主な要因は、繰越金が3,630万7,807円減額となったことによるものである。

③歳出の状況

(第3表の1) 前年度決算額との比較

(単位：円、%)

歳出区分 (款)	決算額 A	決算額 構成比	前年度 決算額 B	対前年度比	
				増減額 C (A-B)	増減率 C/B
1 議会費	748,183	0.2	987,650	△239,467	△24.2
2 総務費	148,402,509	32.1	150,170,705	△1,768,196	△1.2
3 民生費	291,708,570	63.0	297,322,196	△5,613,626	△1.9
4 諸支出金	21,929,560	4.7	58,237,367	△36,307,807	△62.3
5 予備費	0	0	0	0	—
合 計	462,788,822	100.0	506,717,918	△43,929,096	△8.7

※ 決算額構成比は四捨五入のため、各行の和と合計行が一致しないことがある。

(第3表の2) 予算現額との比較

(単位：円、%)

歳出区分 (款)	予算現額 A	決算額 B	不用額 A-B	執行率 B/A
1 議会費	1,487,000	748,183	738,817	50.3
2 総務費	157,702,000	148,402,509	9,299,491	94.1
3 民生費	313,288,000	291,708,570	21,579,430	93.1
4 諸支出金	21,930,000	21,929,560	440	100.0
5 予備費	2,000,000	0	2,000,000	0.0
合 計	496,407,000	462,788,822	33,618,178	93.2

令和2年度の歳出決算額は、4億6,278万8,822円で、前年度決算額と比較して4,392万9,096円、率にして8.7%減少した。

歳出決算額の内訳をみると、議会費が74万8,183円、職員給与費をはじめとする広域連合運営経費の総務費が1億4,840万2,509円、特別会計への繰出金である民生費が2億9,170万8,570円、市町への償還金である諸支出金が2,192万9,560円となった。また、予備費の執行はなかった。

前年度決算額と比較して減となった主な要因は、諸支出金が3,630万7,807円減額となったことによるものである。

(2) 後期高齢者医療特別会計決算の概要

①決算規模及び収支の状況

(第4表の1) 前年度決算額との比較

(単位：円、%)

区 分	決算額 A	前年度 決算額 B	対前年度比	
			増減額 C (A-B)	増減率 C/B
歳入	107,278,630,618	109,615,644,540	△ 2,337,013,922	△2.1
歳出	102,546,212,603	107,064,232,470	△ 4,518,019,867	△4.2
差引	4,732,418,015	2,551,412,070	2,181,005,945	85.5

(第4表の2) 予算現額との比較

(単位：円、%)

区 分	予算現額 A	決算額 B	執行率 B/A
歳入	108,097,717,000	107,278,630,618	99.2
歳出	108,097,717,000	102,546,212,603	94.9

令和2年度の決算額は、歳入1,072億7,863万618円、歳出1,025億4,621万2,603円で、歳入歳出差引額は47億3,241万8,015円となった。この差引額は、剰余金として令和3年度に繰り越す。

また、歳入決算額と歳出決算額の予算現額に対する執行率は、それぞれ99.2%と94.9%となった。

②歳入の状況

(第5表の1) 前年度決算額との比較

(単位：円、%)

歳入区分 (款)	決算額 A	決算額 構成比	前年度 決算額 B	対前年度比	
				増減額 C (A-B)	増減率 C/B
1 市町支出金	18,476,323,289	17.2	18,051,602,943	424,720,346	2.4
2 国庫支出金	36,153,034,418	33.7	36,552,503,646	△399,469,228	△1.1
3 県支出金	8,127,224,143	7.6	8,984,739,017	△857,514,874	△9.5
4 支払基金交付金	41,060,674,017	38.3	42,813,135,000	△1,752,460,983	△4.1
5 特別高額医療費 共同事業交付金	33,359,385	0.0	26,963,062	6,396,323	23.7
6 財産収入	25,451	17.2	18,051,602,943	△98,889	△79.5
8 繰入金	690,441,570	0.0	124,340	△70,623,905	△19.8
9 繰越金	2,551,412,070	0.6	861,065,475	370,574,427	17.0
11 諸収入	186,136,275	2.4	2,180,837,643	41,462,861	28.7
合計	107,278,630,618	100.0	109,615,644,540	△2,337,013,922	△2.1

※ 決算額構成比は四捨五入のため、各行の和と合計行が一致しないことがある。

(第5表の2) 予算現額との比較

(単位：円)

歳入区分 (款)	予算現額 A	調定額 B	決算額 C	不納 欠損額	収入 未済額	予算現額と決 算額との比較 C-A
1 市町支出金	18,877,509,000	18,476,323,289	18,476,323,289	0	0	△401,185,711
2 国庫支出金	34,777,935,000	36,153,034,418	36,153,034,418	0	0	1,375,099,418
3 県支出金	8,923,785,000	8,127,224,143	8,127,224,143	0	0	△796,560,857
4 支払基金交付金	42,196,360,000	41,060,674,017	41,060,674,017	0	0	△1,135,685,983
5 特別高額医療費 共同事業交付金	27,547,000	33,359,385	33,359,385	0	0	5,812,385
6 財産収入	226,000	25,451	25,451	0	0	△200,549
8 繰入金	741,679,000	690,441,570	690,441,570	0	0	△51,237,430
9 繰越金	2,551,413,000	2,551,412,070	2,551,412,070	0	0	△930
11 諸収入	1,263,000	192,005,203	186,136,275	765,120	5,103,808	184,873,275
合計	108,097,717,000	107,284,499,546	107,278,630,618	765,120	5,103,808	△819,086,382

令和2年度の歳入決算の総額は、1,072億7,863万618円で、前年度決算額と比較して23億3,701万3,922円、率にして2.1%の減となった。

歳入決算額の主な内訳をみると、市町支出金が184億7,632万3,289円、国庫支出金が361億5,303万4,418円、県支出金が81億2,722万4,143円、支払基金交付金が410億6,067万4,017円、繰入金が6億9,044万1,570円、繰越金が25億5,141万2,070円となっている。収入未済額は諸収入において510万3,808円発生し、不納欠損額は765,120円であった。

前年度決算額と比較して減となった主な要因は、国、県からの支出金及び支払基金からの交付金が減額となったことによるものである。

③歳出の状況

(第6表の1) 前年度決算額との比較

(単位：円、%)

歳出区分 (款)	決算額 A	決算額 構成比	前年度 決算額 B	対前年度比	
				増減額 C (A-B)	増減率 C/B
1 総務費	298,851,633	0.3	325,406,090	△26,554,457	△8.2
2 保険給付費	99,423,948,429	97.0	104,213,695,630	△4,789,747,201	△4.6
4 特別高額医療費 共同事業拠出金	37,218,896	0.0	28,083,745	9,135,151	32.5
5 保健事業費	195,007,569	0.2	218,322,012	△23,314,443	△10.7
6 基金積立金	189,624,512	0.2	490,757,718	△301,133,206	△61.4
7 公債費	0	0.0	0	0	0.0
8 諸支出金	2,401,561,564	2.3	1,787,967,275	613,594,289	34.3
9 予備費	0	0.0	0	0	0.0
合 計	102,546,212,603	100.0	107,064,232,470	△4,518,019,867	△4.2

※ 決算額構成比は四捨五入のため、各行の和と合計行が一致しないことがある。

(第6表の2) 予算現額との比較

(単位：円、%)

歳出区分 (款)	予算現額 A	決算額 B	不用額 A-B	執行率 B/A
1 総務費	322,351,000	298,851,633	23,499,367	92.7
2 保険給付費	104,801,274,000	99,423,948,429	5,377,325,571	94.9
4 特別高額医療費 共同事業拠出金	37,791,000	37,218,896	572,104	98.5
5 保健事業費	317,203,000	195,007,569	122,195,431	61.5
6 基金積立金	189,826,000	189,624,512	201,488	99.9
7 公債費	1,000	0	1,000	0.0
8 諸支出金	2,409,271,000	2,401,561,564	7,709,436	99.7
9 予備費	20,000,000	0	20,000,000	0.0
合 計	108,097,717,000	102,546,212,603	5,551,504,397	94.9

令和2年度の歳出決算の総額は、1,025億4,621万2,603円で、前年度決算額と比較して45億1,801万9,867円、率にして4.2%の減となった。

歳出の決算額の内訳をみると、被保険者証交付や電算処理業務委託料等の事務的経費として、総務費が2億9,885万1,633円、療養給付費や高額療養費、葬祭費、審査支払手数料等の保険給付費が994億2,394万8,429円、市町が実施する健康診査事業への補助金等の保健事業費が1億9,500万7,569円、保険料還付金や国・県・市町等に対する償還金等の諸支出金が24億156万1,564円となった。また、公債費及び予備費の執行はなかった。

前年度決算額と比較して減となった主な要因は、保険給付費が減額となったことによるものである。